

28. 血中ミオグロビン RIA の臨床的検討, とくに下肢虚血性疾患例での下肢血流
 スキャンとの比較……………分校 久志他…118
29. 内頸動脈海綿静脈洞瘻に対する核医学的検査……………前田 敏男他…118
30. 脳梗塞患者の脳 RI アンギオグラフィーが灌流増加を示す時……………前田 敏男他…119
31. 限局性肝疾患におけるシンチスキャナーとシンチカメラ像……………油野 民雄他…119
32. ^{99m}Tc -コロイド肝シンチ疑診例における超音波検査の有用性……………油野 民雄他…119

一 般 演 題

1. ^{99m}Tc 溶出液の放射化学的純度

天野 良平 真田 茂
 安東 醇

(金沢大・医技短)

前田 敏男 森 厚文
 久田 欣一

(同・核)

小村 和久

(同・理)

^{99}Mo - ^{99m}Tc ジェネレータから溶離される溶出液 $^{99m}\text{Tc O}_4^-$ の放射性核種の純度を測定することは, ^{99m}Tc の放射性医薬品の品質管理の立場から重要である. 演者らは, 不純物核種の定量的測定を行なった. γ 放射体は, Ge (Li) 半導体検出器による γ 線スペクトロメトリーにより, ^{90}Sr , ^{239}Pu は, 放射化学分離法により単離した後, ^{90}Sr は液体シンチレーション法で ^{90}Y を測定し, ^{239}Pu は α 線スペクトロメトリーにより定量した.

その結果, 以下の点が判明した. (1) 最近使用されているジェネレータは, 核分裂生成物の ^{99}Mo を使用している. (2) 溶出液中に測定された不純物核種は, ^{131}I , ^{103}Ru および ^{140}Ba のいずれも核分裂生成物であった. (3) ^{90}Sr , ^{239}Pu については, それぞれ $3.6 \times 10^{-7} \mu\text{Ci/ml}$, $1.7 \times 10^{-9} \mu\text{Ci/ml}$ 以下という値が得られた.

2. フェリチンの RIA—鉄欠乏性貧血の診断と治療に関して

斎藤 宏

(名大・放科)

林 大三郎

(同・放部)

鉄欠乏性貧血 (IDA) は貯蔵鉄が枯渇する時に顕在化する. 貯蔵鉄の指標としては従来, 骨髄へモジデリン, デスフェラルテスト, 血清鉄, UIBC などが用いられてきたが, 骨髄へモジデリンは半定量的であり, デスフェラルテストは貯蔵鉄増加時にのみ定量的であり, IDA の診断には適しない. 血清鉄や UIBC は必ずしも貯蔵鉄を反映しない場合があるが, フェリチンの値が低い場合は貯蔵鉄の減少を確認できる. IDA では TIBC の増加と血清鉄の減少が特徴的で, フェリチンの測定を行なうまでもないケースがほとんどであるが, IDA の合併症や, 例外的ケースではフェリチンは有力な指標である. IDA 治療経過観察上も, フェリチンは貯蔵鉄を良く反映する. TIBC, UIBC, 血清鉄のラジオアッセイとフェリチン RIA *との関係を症例を追って報告した.